ご入会になりますと

1 全国的又は支部毎に開催する各種大会、見学会、研究会等にご案内するとともに、クレーン等に関する法令・行政通達等の改正・災害事例・災害防止対策・その他当面の諸問題について、最近の知識と情報を得ることができます。
また、クレーン等に関する技術的な相談にも応じます。

2 クレーン等の最新の技術、法令改正等の行政の動き、災害等の情報や各種統計・資料等を掲載した会報である機関誌「クレーン」が毎月、また、「クレーン年鑑」が毎年無料でお手元にお届けします。

3 クレーン等の運転等に必要な資格を取得できる技能講習、特別教育その他各種安全教育の開催についてご案内します。

4 毎年、優良なクレーン等運転業務従事者、玉掛け業務従事者及びクレーン等整備業務従事者の方々並びにクレーン等整備事業者に対して、会長又は支部長から表彰を行っております。また、全国安全競技大会の優勝者には、厚生労働大臣からクレーン運転等に関する表彰が授与されます。

5 9月30日の「クレーンの日」のポスター及びリーフレット等が無料でお手元にお届けします。

ご入会の申し込みは

添付の「(一社) 日本クレーン協会　入会申込書」に所要事項をご記入のうえ、最寄りの支部又は本部にご提出下さい。

なお、(一社) 日本クレーン協会について、詳しくお知りになりたい方は、当協会ホームページ (https://cranenet.or.jp) をご覧いただくか、本部又は支部にお問い合わせ下さい。

会　費　は

次の表に示すとおりです。
年度の中途で入会された場合は、月割り計算となります。

正会員の種類及び級別基準				年会費
種類 / 級別	1年間に製造するクレーン等のつり上げ荷重の合計 (単位：トン)	1年間に整備、貸与又は販売するクレーン等のつり上げ荷重の合計 (単位：トン)	設置しているクレーン等のつり上げ荷重の合計 (単位：トン)	(単位：円)
1級	150以上	150以上	300以上	90,000
2級	100以上 150未満	100以上 150未満	200以上 300未満	68,000
3級	50以上 100未満	50以上 100未満	100以上 200未満	46,000
4級	25以上 50未満	25以上 50未満	50以上 100未満	24,000
5級	25未満	25未満	50未満	12,000

上記の他、どなたでも賛助会員になることができます。
(法人又は団体：24,000円、個人：12,000円)

(注)
1　表の「種類」欄の「つり上げ荷重の合計 (単位：トン) は、エレベーター (建設用リフト及び簡易リフトを含む。)、ゴンドラ及び高所作業車にあっては「基数 (単位：基)」と読み替えて下さい。
2　整備、貸与する場合において、同一クレーン等を同一年間に複数回整備、貸与する場合にあっては、当該クレーン等を1基として、そのつり上げ荷重又は基数を合計して下さい。

一般社団法人 日本クレーン協会

入会案内

一般社団法人 日本クレーン協会

■本部
〒136-0082　東京都江東区新木場1-11-7
電話　03-5569-1911　　FAX　03-5569-1916
ホームページ　https://cranenet.or.jp

●入会のお申し込み ——

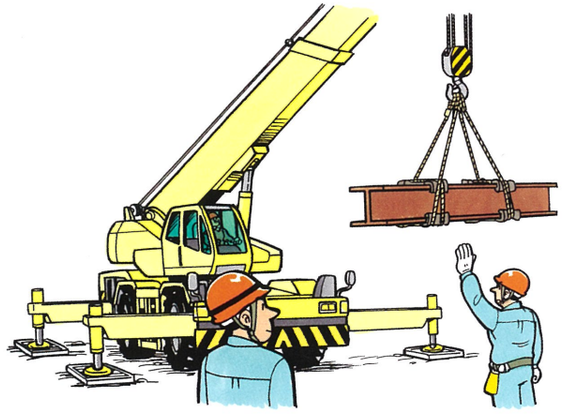
一般社団法人 日本クレーン協会

一般社団法人
日本クレーン協会

一般社団法人日本クレーン協会とは

クレーン等に関する調査研究をはじめ、クレーン等に関する知識の普及、資格取得のための教習・講習、安全教育、クレーン等の安全性を確保するための検査・検定、各種の図書の出版等の事業を積極的に推進することにより、クレーン等に関する技術の向上及び事故又は災害の防止に寄与することを目的としている一般社団法人です。

創立年月日	昭和38年９月５日
設立年月日	平成24年４月１日
会　員　数	5,102（令和５年３月末現在）
支　部　数	26支部
検査事務所	34検査事務所



一般社団法人　日本クレーン協会の事業のあらまし

調査研究

・クレーン等の構造、使用、保守管理等に関する調査研究を行っています。
　また、その結果等をもとに、クレーン等の安全等に係る日本クレーン協会規格の制定、日本産業規格（JIS）の原案の作成を行っています。
・国からの要請によるタワークレーンを遠隔操作する技術への要求事項と適用基準に係る検討等、クレーン等に関する国の政策に協力しています。
・国際標準化活動として、日本を代表しISO/TC96国内審議委員会を開催して国内メーカー・ユーザーの意見を取りまとめるとともに、ISO/TC96国際会議に参加し、クレーン等に関するISO規格制定・改定に参画しています。

検査・検定

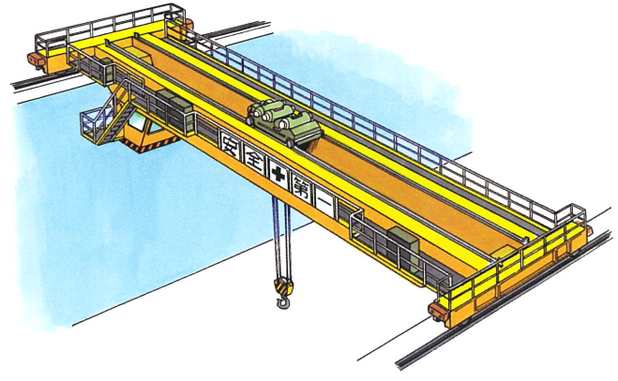
・厚生労働省の登録を受け、クレーン･移動式クレーン･デリック・エレベーター・ゴンドラの性能検査及びクレーン又は移動式クレーンの過負荷防止装置の型式検定を行っています。
・質の高い検査サービスの提供を旨として、設置者、整備業者等の受検者に対し、技術的指導、事故事例や災害防止対策等に有用な情報を提供する等のサービスの向上に努めています。

教習・講習・安全教育

・クレーン等運転士免許の実技教習（全国８箇所の教習所）、床上操作式クレーンの運転、小型移動式クレーンの運転及び玉掛けの各技能講習、クレーンの運転等の特別教育、天井クレーン、移動式クレーン及び積載形トラッククレーンの定期自主検査者安全教育、クレーン、移動式クレーン運転士及び玉掛け技能者の安全衛生教育、ワイヤロープの点検管理の安全教育等を行っています。
　また、クレーン等の安全教育の充実を図るため、小型移動式クレーンの技能講習等へのVR訓練システム導入やクレーン等の教育のための教材の開発に係る検討等を行っています。

広報・出版

・月刊誌やホームページ等によりクレーン等に関する最新の情報を提供するとともに、クレーン等の作業に必要な資格取得用のテキストをはじめ、作業の安全に関する各種の図書を出版しています。
・９月30日を「クレーンの日」として主唱し、クレーン等による労働災害防止の意識の高揚を図っています。
　また、「全国クレーン安全大会」を毎年開催し、研究講演や事例発表を行うとともに、「全国安全競技大会」の開催並びに優良クレーン関係業務従業者及び整備事業者の表彰などを通じて、クレーン安全に係る普及啓発の取り組みを行っています。

日本機械学会年次大会公開先端技術フォーラム

・調査・研究事業の成果を幅広く公開し、次世代技術者の養成を担う大学等と連携するために、日本機械学会年次大会において研究発表及びパネルディスカッションを行っています。